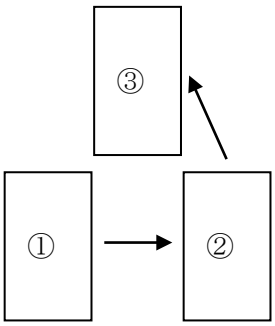
STRENGHT. 力　　展開における解釈 1

【練習課題：三枚の札による展開法に挑戦　②　】

札の枚数が多いからと言って詳細且つ的確な回答が導き出せるとは限りません。質問に対して、一枚引きでも三枚引きで答えることもができる場合もあります。鑑定師は、質問内容とそれに相応しい展開法を見極めなければなりません。そのために最も見極めなければならないのは、質問者のニーズです。質問者の声をしっかり心で聞き入れて下さい。質問をただ耳に入れて、通り一遍の札展開を披露する……こんな光景が街角では見られる昨今です。札展開を決め、それぞれの札で何を読むかの詳細を設定するという一連の作業には知識と情報、応用力、感性をフルに使う必要があり、ある程度時間と労力を要するステップであるはずです。

☆大三角形の秘法／トライアングル・スプレッド

札を三枚、スリーカード展開法のように、向かって左から右へ、時間の推移で変化する現状（①）と今後（②）の札を並べ、その二枚を結ぶ線を底辺として、二点の中央から垂直に線を引いたところを三点目の頂点として、三枚の札で正三角形を作るように配置します。一枚目で現状、二枚目で今後、三枚目が、一枚目から二枚目へと至る経緯についてのカギになります。カギというのは、より良い未来を切り開くためのカギ、好ましくない未来を回避する方策とかみ砕いて言うことができます。カギは必ず正位（せいりつ）させ、正位置でひとつの指針として解釈します。



①で現状、②で今後、③で指針を解釈するというのは、これまでの解釈の仕方の応用です。指針だけを導き出したいのなら、③の札だけを出せば良いことになります。

【あなたへの課題】

では、大三角形の秘法で③の札に「力」が出た場合、質問者に対してどういう促し、導き、指針を提示することができるでしょうか？　恋や仕事、お金など誰のどういう問題を扱っているかによって、表現は様々になってくるでしょう……しかし、このアルカナが出た時の指針はひとつです。すべてアルカナは 22 通りの人間の徳性、人が人生を切り開いてゆくためのカギなのですから、どこの誰の問題であろうと、導きの答えとなるものの大筋は、根本は変わらないのです。指針を導き出してみて下さい。